

平成27年度 県立名護商工高等学校学校評価（自己評価・学校関係者評価）

No.1

1 教育目標	(1) すぐれた知性の育成（知育） (2) ゆたかな心の育成（徳育） (3) たくましい体の育成（体育）
2 学校経営方針	(1) 活力ある校風の樹立 (2) 協力体制の確立と効率的運営 (3) 豊かな人間性と個性の伸長を図り、心身共に健康で逞しく生きる生徒の育成 (4) 家庭・地域社会との連携 (5) 教育情報化の推進 (6) ものづくりや資格・検定の取り組みの奨励

評価項目	具体的な目標	具体的方策	自己評価		平成27年度の課題等	学校関係者評価 (一つに○印) △は次点	学校関係者からの次年度に向けての要望等
			中 間	年 間			
1 学校の教育目標 教育計画・学校 運営	学校の目標を具体的に説明し、地域・父母・学校一体となった学校づくりに努める	(1) 本校の教育方針はわかりやすく伝わっている	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は学園祭を実施し地元住民の方々を中心としてたくさんの方に来場いただいた。 すべての項目でB評価であるので具体的方策が求められる。 	A (B) C D	<ul style="list-style-type: none"> 卒業との行事で地域との連携がうまく取れているので継続してほしい。
		(2) 生徒の成績評価方法がわかりやすく説明されている	B	B		(A) B C D	
		(3) 家庭や地域の声を聞く機会が設定されている	B	B		A (B) C D	
		(4) 学校行事を地域の人々に案内し、開放している	B	B		A (B) C D	
		(5) 学校目標方針等は地域のニーズに応じている	B	B		(A) B C D	
2 豊かな心を育む 教育活動の推進	自他の生命の尊さ、人間の尊厳に関わる道徳教育の推進に努める	(6) 個性を尊重し、個に応じた教育や、道徳及び人権教育の推進をしている	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度は全てB評価であった教育相談活動は今年度2項目でA評価がついている。しかし、発達障害を抱えた生徒の増加で、相談係の負担増が大きく、全職員で指導できる相談体制を整備する必要がある。 	A (B) C D	<ul style="list-style-type: none"> 道徳新聞（美ら心）の発行の取り組み素晴らしいので継続してください。
		(7) 担任、教育相談係、関係部署で連携し、教育相談の充実を努めている	A	B		(A) B C D	
		(8) 教師・生徒の人間関係の醸成のための教育相談の充実が図られている	B	B		A (B) C D	
		(9) 教育相談による生徒理解や支援が効果的になされている	B	A		A (B) C D	
3 学習指導の工夫 ・改善・充実に 努め学力の向上	基礎的・基本的事項の指導を徹底し、自ら学ぶ生徒の育成に努める	(10) 生徒を一人ひとりを視座にした基礎的・基本的知識技能習得を図っている（補習・講座等）	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 3項目について90%の職員がほぼ達成または概ね達成と回答している。学習指導の工夫・改善・充実に努めた学力の向上にさらに協働体制で推進して行く。検定・資格等の項目は自己評価Aである。 	A (B) C D	<ul style="list-style-type: none"> 各部の計画を次年度にしっかりと引き継ぎ協力してください。 資格・検定取得などの専門教育の取り組みを是非継続してください。
		(11) 生徒が主体的に学習に取り組むための授業工夫と分かる授業の充実を図っている	B	B		A (B) C D	
		(12) 各種資格・検定の取得を奨励し、専門教育指導の強化を図っている	B	A		(A) B C D	
4 進路指導の充実	進路意識の高揚と個々の生徒への相談充実	(13) 保護者がいつでも進路相談にいける雰囲気のある学校で相談室も入りやすい環境である	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 今年度PTA総会時には進路カフェ、外部講師を招聘しての進路講話を実施し、昨年度より参加者が増えた。次年度も魅力ある講演を実施し参加者増に努める。 昨年B評価であったインターシップ項目は前期後期通してA評価となった。 	A (B) C D	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が学校に入りづらいという声も聞こえるので来校しやすい雰囲気づくりの工夫をしてください。
		(14) 進路に関して家庭への連絡や適切な情報提供がなされ、本校の卒業時点の進路決定者が知らされている	B	B		A (B) C D	
		(15) 進路情報の収集及び進路相談・個別指導の強化がなされている	B	A		A (B) C D	
		(16) インターシップの充実と正しい職業観・勤労観の育成に努めている	A	A		(A) B C D	
		(17) 生徒たちの目的意識高揚に気を配っている	B	B		A (B) C D	

※ 評価基準 A:ほぼ達成（8割以上） B:概ね達成（6割以上） C:変化のきざし（4割以上） D:不十分（4割未満）

評価項目	具体的な目標	具体的方策	自己評価		平成26年度の課題等	学校関係者評価	学校関係者からの次年度に向けての要望等
			中間	年間			
5 生徒指導の充実	好ましい人間関係の中で、自ら考え、自主的に判断し、行動できる能力の育成に努める	(18) 学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる	B	B	・評価項目5では80%以上の職員がほぼ達成か概ね達成と回答。(21)は前期A評価。 ・生徒・保護者の満足度は満足以上と回答した割合が優位 ・懲戒指導を繰り返す生徒の効果的対策が課題。	A (B) C D	・現在の生徒指導体制・いじめ防止方針、指導計画を是非継続して指導を徹底してください。 ・一昔前と比べ雰囲気の良い生徒がいなくなりました。
		(19) 規範意識の醸成と挨拶や相手を思いやる心の育成等の指導が行われている	B	B		A (B) C D	
		(20) 生徒たちの行動面の改善指導が行きとどいている	B	B		(A) B C D	
		(21) 全体集会、講話、巡視、個別指導等を通して、基本的生活習慣の確立と心の教育の充実に努めている(凡事徹底)	A	B		A (B) C D	
6 保健・安全及び教育環境の整備	保健・安全指導の充実と施設・設備の安全管理に努め、健康で明るく豊かな自然を守り、花と緑のある学園づくりをめざす	(22) 教育目標にそって校内の施設・環境等に工夫がみられる	B	B	・今年度の環境美化係の尽力で緑・花いっぱいの学校へと整備された。	(A) B C D	・現在の体制を継続して下さい。 ・校内美化環境はどこにも負けない素晴らしいものです。
		(23) 生徒たちは健康で健全な学校生活を送っている	B	B		(A) B C D	
		(24) 保健室は生徒が常に活用できる安全な環境である	B	A		A (B) C D	
		(25) 安全管理の日(毎月1日)の設定を行い、定期的な安全点検の実施をしている	B	B		A (B) C D	
		(26) 教室内外の美化、花と緑のある学園づくりに努めている	A	A		(A) B C D	
7 特別活動の推進	集団活動、体験活動を通して、自主的・実践的な態度を育成する	(27) 生徒の自主的運営による行事を実施している	B	B	・(27)は2割が変化の兆しと感じており生徒会活動の活発化が見られる。	A (B) C D	・部活動、その他ボランティアなどを通して公共性、社会性を育成してください。
		(28) 学校行事等で帰属意識、公共の精神、社会性を育成している	B	B		A (B) C D	
8 魅力ある学校づくりの推進	各科・コースの特色を明確にし、学校の存在感をアピールする	(29) 中学校への広報活動を充実させている	B	B	・今年度HPのリニューアルし、学科通信などを随時アップした。また、生徒の活動、活躍が新聞・TVにも何度も報道され、着実に地域へのアピール度がアップしている。次年度も積極的に生徒の活躍を様々なメディアを通じて発信し、魅力をPRする。	A (B) C D	・引き続き商工の素晴らしさをアピールして下さい。 ・中学校への広報をもう一工夫ほしい。
		(30) 学校ホームページや校門前掲示板等で広報活動を充実させている	B	B		A (B) C D	
		(31) 特色を生かした教育課程の編成・研究に努めている	B	B		A (B) C D	
9 家庭・地域社会との連携	保護者・地域住民の意向を学校運営に反映させ、開かれた学校づくりをめざす	(32) 保護者・地域住民、学校評議員会の意向を学校運営に反映させ、開かれた学校づくりを進めている	B	B	・PTA評議員会の参加率を上げる為に呼びかけと連絡を密にしていく。 ・PTA活動の活性化を図るため、魅力ある活動を企画していく。	A (B) C D	・保護者・地域と一緒に協力して取り組んでください。 ・PTA評議員会の参加者増を工夫してください。
		(33) P T A評議員会の定期的開催と、地域情報交換会や夜間巡視へ積極的に参加している。	B	B		(A) B C D	
10 研究・研修の推進	情報化の推進と計画的に校内研修を実施する	(34) 進路支援システムの活用と事務処理の情報化に努めている	B	B	・評価項目10では96%の職員がほぼ達成か概ね達成と回答。センター等の外部研修を奨励し、指導力向上を図っていく。	(A) B C D	・研修による指導力向上に努めてください。
		(35) 校内研修の推進と関連機関研修(センター・研究会等)の機会を奨励している	B	B		A (B) C D	

※ 評価基準 A:ほぼ達成(8割以上) B:概ね達成(6割以上) C:変化のきざし(4割以上) D:不十分(4割未満)

